

# 建築と社會 高層建築

第十五輯第一號

昭和七年一月發行

## — 目 次 —

|                           |            |
|---------------------------|------------|
| 卷頭挿畫 「ホロニア」歐洲旅行スケッチ帖の一葉   | 竹腰健造 (一)   |
| 昭和七年を迎へて                  | 片岡安 (三)    |
| 昭和七年の日本建築界豫想と對時局感         | 古宇田實 (四)   |
| 昭和六年の建築界を顧みて              | 黒田鵬心 (七)   |
| 近代建築形態の趨勢                 | 武田五一 (一〇)  |
| 高層建築時代                    | 片岡安 (二五)   |
| 經濟的觀察を主としたる將來の高層建築        | 村山長舉 (二九)  |
| 高層建築は何處まで伸びる              | 田邊平學 (三三)  |
| 都會の事業化と高層建築               | 土田杏村 (三六)  |
| 岐阜提燈から魂なき高層建築へ            | 藤田進一郎 (三七) |
| 社會現象として見る高層建築             | 神近市子 (四〇)  |
| ニューヨーク市及びシアトル市の地域條令に於ける   | 内藤亮一 (四二)  |
| 建築物の高さ制限規定                | 加藤善吉 (四九)  |
| 地域制と高層建築                  | 小笠原 鈞 (五三) |
| ビルディングの基礎工事其他にニウマチツクケーション | 吉田信武 (五五)  |
| 建築物の高さの制限に就いて             |            |
| 「建築と社會」表紙佳作入選圖案發表         | 本武精吾 (六一)  |
| 表紙圖案審査評                   | 春山武松 (六一)  |
| 表紙應募感想                    | 瀧澤真弓 (六二)  |
| 建築構造材料としての鑄鋼品に就いて         | 宇賀一郎 (六四)  |
| 銲接接合部の計算及び諸實例             | 池田宮彦 (六五)  |
| 國際新建築集                    | 鶴田明 (七三)   |
| 京阪神新建築集                   |            |